

反歌

三三一九番

杖つきも つかずも 我は 行かめども 君が来ま
さむ 道の知らなく

三三二〇番

直に行かず こゆ巨勢道から 石瀬踏み 求めそ
我が来し 恋ひてすべなみ

三三二一番

さ夜ふけて 今は明けぬと 戸を開けて 紀伊へ
行く君を 何時とか待たむ

三三二二番

門に居し 郎子宇智に 至るとも いたくし
恋ひば 今帰来む